

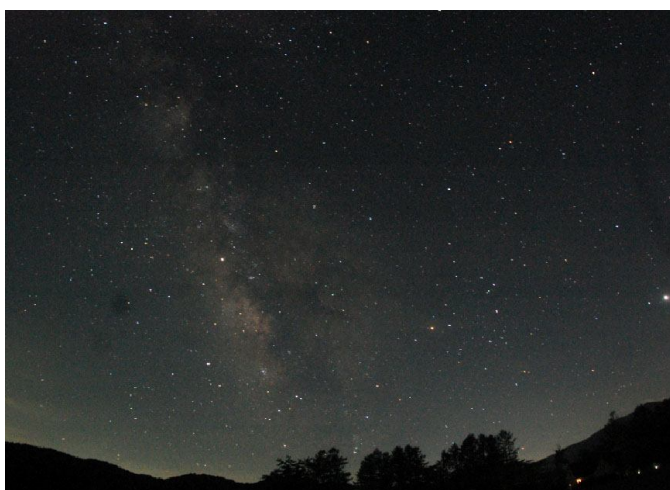
「夏の天体観望(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

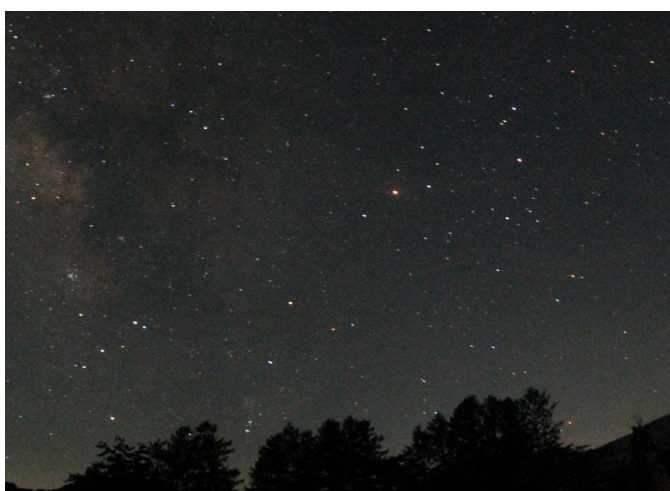
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

北軽井沢は、関東地方有数の星がきれいな土地である。私の山荘は、その北軽井沢の市街地からも離れていて、人工光がほとんどない。しかし、カラマツやシラカバの木々に囲まれているので、天頂付近はよく見えるが、地平線付近の観測はできない。夏の天体観望の魅力は、夏の大三角に加え、南の地平線近くの星座や天の川の美しさがあげられる。その日はかなり遅い時刻だったが、私は再度車のエンジンをかけて、山荘から5分ほどの、高原野菜畑に出かけた。



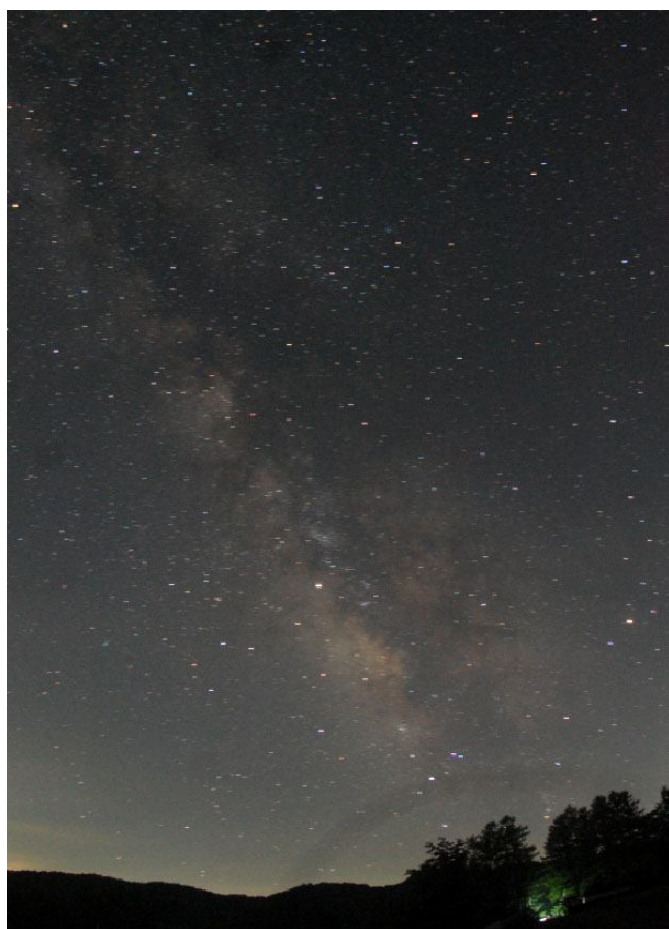
ここは 360° ほとんど遮蔽物がなく、天体観望には絶好の場所だ。天の川もすばらしくよく見える。



天の川の右側(南側)には、夏の星座の代表とも言える「さそり座」が見える。ひときわ赤く、明るいの是一等星アンタレスだ。



さそり座は、比較的形がとりやすい星座と言えるだろう。星座線を描くのも簡単だ。さそり座は「天の赤道」よりも南の星座なので、関東地方では南中高度が低く、観望に適しているとは言えない。地平線付近に少しでも障害物があると、前景は見えなくなってしまふ。夏休みの宿題に「さそり座の観察」をさせるのは、慎重にしたほうが良いだろう。



夏の銀河は、さそり座の左側のいて座付近から斜め左に立ち上がり、天頂付近で夏の大三角を横切り、北天のカシオペアへと続いている。空の暗い北軽井沢では、その全貌を見ることができる。

